

未来につながる学び作り

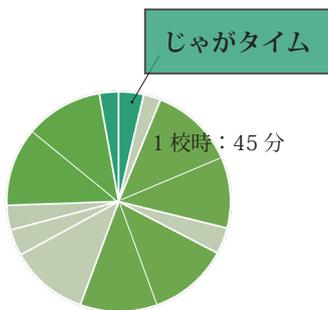
町では子どもたちが充実した教育を受けられるように、様々な取り組みをしています。
今月号の特集では、町の教育についてと、来年度から導入される「じゃがスタ」について紹介します。

各小中学校の一日の日課の紹介

小学校 (6 時間授業日) ・ 中学校の一日の日課

・ 1 日の在校時間：共に約 7 時間

- ・ 8 時 10 分までに登校
- ・ 授業間の休憩は 5 分

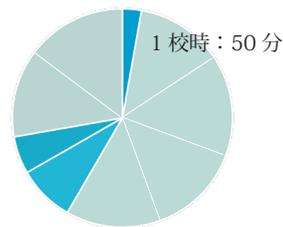


じゃがタイム：朝 15 分で外国語と朝読書を交互に行う

小学校

じゃがタイム	～ 8：25
朝の会	～ 8：35
1校時	～ 9：20
2校時	～ 10：10
中休み	～ 10：25
3校時	～ 11：10
4校時	～ 12：00
給食	～ 12：45
清掃	～ 13：00
昼休み	～ 13：15
5校時	～ 14：00
6校時	～ 14：50
帰りの会	～ 15：00

- ・ 8 時 20 分までに登校
- ・ 授業間の休憩は 10 分



中学校

朝の会	～ 8：30
1校時	～ 9：35
2校時	～ 10：35
3校時	～ 11：35
4校時	～ 12：35
給食	～ 13：05
昼休み	～ 13：25
5校時	～ 14：20
6校時	～ 15：20

※小学校・中学校ともに令和 8 年度 4 月からの日程です。

各小中学校の児童・生徒数

西小樺山分校
教員数：4 人
児童数：9 人

俱知安小学校 (教員数：23 人) 児童数：223 人	北陽小学校 (教員数：14 人) 児童数：164 人	東小学校 (教員数：17 人) 児童数：156 人	西小学校 (教員数：16 人) 児童数：145 人	俱知安中学校 (教員数：34 人) 生徒数：392 人
-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------------------

(令和 8 年 2 月現在 児童・生徒数 1,089 人)

ふるさと教育の充実「じゃがスタ」とは

4月から町の小・中学校を対象に導入する町独自のカリキュラムで、正式名称は「じゃが・スタディ科」といいます。

【目指す子どもの姿】

将来子どもたちが町や国際社会で活躍できるように、

- ①「地域の良さを探究的に知り、地域を愛し、将来にわたり社会に貢献できる」
 - ②「外国の方々と英語で積極的にコミュニケーションを図ることができる」
- という2点を中心に育成することを目指しています。

①総合的な学習(じゃがふる)

・探究的な学習の充実

②外国語活動・英語(じゃがE)

・英語によるコミュニケーション能力の向上

一体化した新しい教科 「じゃが・スタディ科」

(じゃがスタ)

- ①ふるさとの良さを知ること町の魅力を知り、もっと外国の人にも伝えたい!
- ②外国語を学ぶことで、自分たちで調べたふるさとの良さを伝えることができる!

国際色豊かな町の特色を生かした「ふるさと教育の充実」を目指すことで、教科として確立し、定着させることで、「外国語をしゃべりたい!」「倶知安ってすてき!」と思える子どもたちを増やしていくことを目指します。



倶知安小学校教諭
福 一紀 さん

令和5年度
から倶知安小学
校に勤務してい
ます

グローバル化や町内のインバウンド増加により、英語力向上は不可欠です。小中連携の課題を解消し一貫した学びを届けるため、令和8年度より町独自のカリキュラム「じゃがスタ」が始動します。

じゃがスタは、英語教育と総合的な学習の時間を一体化した独自の学びです。英語で積極的に交流し、地域の良さを探究して郷土愛を深めることで、将来、町や国際社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生き抜く力を子どもたちにつけることを目標にしています。

英語に触れることは異文化理解を深め、日本語の感性を磨くことにも繋がると考えています。私が授業で大切にしているのは、子どもたちが「伝えたい!」と心から思える場作りです。英語を使って自分の考えや思いを伝え合う「必要性」を実感できる授業を追求し、町内の教員が一丸となってじゃがスタを実施できるように準備を進めたいと思います。

多国籍の人々が暮らすこの町ではコミュニケーションのひとつとして英語も大切です。

倶知安小学校で6年生の担任を務める福先生にお話を聞きました。

小・中いっしょに、9年間。
「学校って楽しい!」をずっと。
子どもたちの力を、たしかに育てる。

倶知安中学校

町内の各小学校



町の教育の柱「倶知安プラン」

倶知安プランとは、小学校と中学校の9年間を見通した、共通の取組を行うことで子どもたちが安定して学年ごとに必要な資質・能力を学年を追うごとに身に着けることを目標に、各学校で統一した取組を進め、9年間で積み上げていくプランです。

倶知安プランの重点として、「ふるさと教育の充実」に向けた取り組みや、「倶知安町教育実践発表会」を行っています。

「倶知安町教育実践発表会」とは

先生たちが集まり、お互いの授業を見学し、学び合い、倶知安プランを育てていきます。その取り組みを紹介するのが、「倶知安町教育実践発表会」です。

教育実践発表会の様子



▲授業の講評

児童・生徒の授業だけでなく、よりよい教育ができるように、先生方も学び続けていきます。



▲東小での授業

東小では、外国の方々へ町の自然と食の魅力伝える展示会を開くためのグループ活動を行いました。



▲倶小での授業

倶小では、日本語と英語の両方を使ってコミュニケーションを取り、交流に向けて活動を行いました。